

はまなす

公益社団法人 北海道看護協会
札幌第4支部だより

■発行所：公益社団法人 北海道看護協会札幌第4支部 編集責任者 中川千江子

HOKKAIDO NURSING ASSOCIATION **HAMANASU**



Contents

- 令和6年度 札幌第4支部 研修報告
- TOPICS 施設紹介 医療法人社団翔嶺館 札幌優翔館病院
- 会員募集 他



令和6年度 札幌第4支部 研修報告

看護師職能委員

褥瘡ケアの今と昔 ～アセスメントから実践まで～

- 日 時：2024年7月20日14:00～16:00
- 場 所：KP札幌駅カンファレンスセンター
カンファレンスルームD2
- 参加人数：50名
- 講 師：北海道医療大学訪問看護ステーション 所長
皮膚・排泄ケア認定看護師（WOCN）
佐藤 明子 氏

佐藤先生は、皮膚・排泄認定看護師の1期生とのことで、昔のケアから最新のケアまで、褥瘡治療の歴史を網羅されています。そのため、昔行っていたケアは本当に正しかったのか？ということ、根拠を元楽しく解説して頂きました。講義内容も皮膚の構造、褥瘡発生リスク、栄養状態、DESIGN-RやOHスケール、K式スケールなどいろいろな評価方法があること、DESIGN-Rについてなど、褥瘡ケアを行うに当たり必要な知識を丁寧に説明して頂きました。また、ドレッシング材、新聞紙、リモイスクリーム、ベビーパウダーなど受講者全員分を用意していただき、どれだけ粘着力があるのか、ドレッシング材を触ってみて、どれくらいすべすべしているのかなど、受講者は自分の腕を利用して体験していました。後半では、オムニ商会の方から体交クッションの使い方や、除圧グローブの使用方法などの実技がありました。その中で興味深かったのは、参加者にベッドに寝てもらい、ベッドがフラットな状態になったら教えて欲しい、という実験を行いました。結果は、少しギャッジアップされた状態をフラットになった、と判断していました。ベッドをフラットにしておくのは、患者様にとってはのけぞるような感覚になる、ということがその実験によってわかり、患者様はベッドを少しギャッジアップした状態の方が心地よいのだと感じました。だいたい20～30度くらいギャッジアップされていたと思います。

佐藤先生は現在訪問看護でご活躍されており、今回の研修内容も、訪問看護でどのように褥瘡ケアを行ったらよいのか、という視点でお話しされていましたが、病院での褥瘡ケアとの共通する内容も多く、とても学びが多い研修となりました。

(記：小原)



教育委員会

看護過程研修会

■日 時：2024年8月20日(火)～21日(水)

■場 所：公益社団法人北海道看護協会

■参加人数：15名

■講 師：札幌第4支部長 天使病院看護部長
中川 千江子 氏

北海道科学大学保健医療学部看護学科准教授
急性・重症患者看護専門看護師 石川 幸司 氏

目的：看護過程の理解を深め、看護実践へ活かすことができる

目標：(1) 看護過程の基本が理解できる

(2) 看護過程を展開する上での自己の課題を明確にできる

保健・医療・福祉及び看護の動向

2040年問題として、人口減少、担い手不足、単身高齢者の増加、地域との繋がりが希薄となり、社会保障制度の維持が問題としてあがっています。2040年には生産人口が5978万人(2020年より1192万人減少)、老年人口は3921万人(2020年より244万人増加)し、単身世帯の5割が高齢者となり、現役世代(働く担い手)が急減していきます。看護師の平均年齢は2年間に0.5歳アップ(2021年平均年齢41.3歳)していくため、より少ない人手でも回る医療・福祉の現場を実現し、誰もが長く元気に活躍できる社会の実現を目指すことが2040年の展望とされています。診療報酬改定による賃金引き上げや、勤務編成基準を設け、看護職が元気に働き続けるために各医療機関で取り組みがされていることなどを学びました。

看護過程を看護実践に活かす

看護過程とは『思考の整理』で、看護師は患者に看護する際、病気があるかどうかではなく、それによって起こりうる『反応(病態)』をみるために看護過程を展開していくということを繰り返し説明しながら講義は進んでいきました。

ヘルスアセスメント、フィジカルアセスメントについて詳しい説明の後、事例を通して看護過程を考えて行きました。

個性のある看護とは、特別なことをするわけではなく、患者にとって必要なことをアセスメントし、アセスメントをするには患者に何が必要なのか判断・観察するための知識が必要。近年は臨床推論という看護過程とほぼ同じ考えですが、看護実践におけるアセスメントにおいて患者の健康問題を明らかにしようとする思考過程があり、熟練した臨床ナースは患者の状態から瞬間的に考え判断をしているそうです。ただ、臨床経験年数を積み重ねるだけで臨床判断能力が向上するとは限らず、個人の教育背景や経験内容がフィジカルアセスメント能力に大きく影響を受けるとも言われていました。

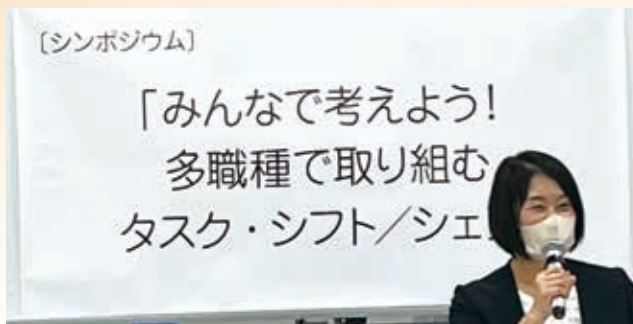
研修の後半はグループワークが行われ、ファシリテーターの助言を受けながら活発に意見を交わしていました。

最後の全体発表では「看護過程と聞くと構えてしまうが、そうではなかった」「〇〇ができない、△△ができなくなったという見方をしがちだったが、残存機能を活かしていくという視点を持つことができた」など、今後の看護実践に活かせる発表が聞かれ、充実した学びの多い研修だったことがうかがえました。



2024年度 会員懇談会（札幌4支部合同開催）

- 日 時：2024年9月7日(土)10:00～15:40
- 場 所：ACA札幌 16階 大研修室1606
(札幌市中央区北4条西5丁目 アスティ 45)
- 講 師：『看護の動向』北海道看護協会
副会長 深津 恵美 氏
『シンポジウム』座長
勤医協西区病院 看護部長小澄 悦子 氏
テーマ『みんなで考えよう！多職種で取り組むタスク・シフト/シェア』基調講演
済生会小樽病院 副院長・看護部長 菅原 実夏 氏
シンポジスト
札幌円山病院 リハビリテーション部マネージャー
石川 朝子 氏
手稲溪仁会病院 栄養部 部長 田中 智美 氏
イムス札幌消化器中央総合病院 薬剤部 薬局長
大久保 利成 氏
勤医協札幌病院 検査科 技師長 宮島 英理子 氏



看護の動向について深津氏より2024年度の診療報酬の変更点や介護の変更点をわかりやすく講義していただきました。

今年度はトリプル改定 診療補報酬・介護報酬・障害福祉サービス等がありました。

私たち看護職はポスト2025年、2040年の少子超高齢社会を見据えた上で、これから来る未来のために多職種連携の要となるように役割が期待されています。また今後の医療計画や

介護保険事業計画の変更等も念頭に地域においての自施設が果たすべき機能や役割を考えることも大切とされていました。



2024年度方針

- 方針1. 看護の質向上と役割の推進
- 方針2. 全世代型地域包括ケアシステムの推進
- 方針3. 看護職の確保と定着の推進
- 方針4. 新興感染症や災害等の対応に係る看護職の確保

2024年「看護の動向」公益社団法人 北海道看護協会資料より



タスク（やるべき仕事）シフト（態勢・配置の変更）/シェア（共有）とは看護師や薬剤師などの医療従事者がそれぞれの専門性を活かせるよう業務分担を見直すことで、医師の負担軽減を同時にチーム医療の水準を上げることを目指しているものである。

今回のシンポジウムでは各病院・施設での取り組みを紹介していただきました。

タスク・シフト/シェアの委員会を立ち上げることで多職種との連携がスムーズになり各部門が一丸となって取り組み患者・施設利用者により環境が与えられることができます。その際にはお互いを尊重・理解をし、話し合いを重ねることで業務を見直すという過程を繰り返し行います。決して押し付けることはなく業務の重なりを持ちながら専門性がより発揮できる方法を探していきます。自分の部署じゃないところに入ってくる人にはウエルカムの姿勢で対応することが大切です。協力してアウェーな雰囲気を出さずお互いが尊重しあえるように取り組む環境作りが大切とお話をされていました。現在進行形で進めている病院・施設、もしくはこれから立ち上げるところの参考になるとよいと思います。



働き続けられる職場づくり推進委員会

メンタルヘルス研修 管理職対象 ラインケア編Step 2

■日 時：2024年9月7日(土)13:00~15:00

■場 所：ZoomによるWeb研修

■参加人数：35名

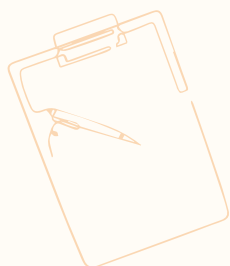
■講 師：増井 拓哉 先生

メンタルヘルスとは、心の健康状態を意味します。近年、こころの病気は増えていて、生涯を通じて5人に1人がこころの病気にかかるとも言われています。看護職はハイリスクグループといわれていますが、現場ではまだまだ十分なケアができていないのが実情です。そこで昨年に続き今年も、産業医・精神保健指定医である増井拓哉先生による「メンタルヘルス研修」を企画し、実施しました。ラインケアの基本、ストレスに関連した障害について、ケース&ディスカッションを通して、研修参加者と共に学びを深めたので報告します。

ラインケアとは職場の管理監督者が日常的に行うメンタルヘルス対策であり、必要とされる根拠は、労働契約法第5条安全配慮義務に基づくものとされています。ラインケアの実務として、「気づく」「声をかける」「つなぐ」があり、その場での解決は目指さず、担当者・専門職につなぐことが大切であると学びました。メンタル不調の要因・症状・対策は事例を通して学びました。ケース&ディスカッションでは、参加者と意見交換を通して対応を検討し、安全配慮義務や個人情報保護の観点も含めて、学びを深めることができました。

参加者からのアンケート結果では、回答者全員が今後の看護業務に・おおよそ役立つ・大いに役立つと回答し、「具体的事例に基づいた対応を学べた」「法律に基づいた対応策や解決方法のアドバイスが説明され、わかりやすかった」「自分だけではなく組織としても取り組んでいく問題だと思うので、今後の活動に役立てたい」など沢山の感想が得られました。このように、メンタルヘルスについての理解を深め、様々な対応策について考え、今後現場での活動に生きる学びの機会となりました。今年も講師を引き受けていただいた増井先生をはじめ、研修にご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。研修報告とさせていただきます。

第4支部 働き続けられる職場づくり推進委員会





Topics

施設紹介

医療法人社団翔嶺館

札幌優翔館病院

医療法人社団翔嶺館 札幌優翔館病院について

札幌優翔館病院は、昭和56年に札幌恵北病院として開院、その後翔嶺館グループに参入し、平成20年に現病院名に変更となり現在に至ります。

翔嶺館グループは十勝方面に2病院、札幌市厚別に1病院、介護施設10施設（サービス付き高齢者住宅：2施設、グループホーム：7施設、デイサービスセンター：3施設、ケアプランセンター：1施設、ヘルパーステーション：2施設）、福祉カレッジを持ち各機関が連携しながら、時代や環境の変化に柔軟に対応したトータルサポートを提供しています。当院の病床数は急性期一般病棟：38床、障害者施設等一般病棟：48床、地域包括ケア病棟：48床の、総数134床となっています。東茨戸の地で、高齢者に特化した急性期から慢性期そして在宅まで一貫した医療を提供出来るように職員一同奮闘しています。

周辺市民の知識の習得や、健康管理に役立てる様、医師やリハビリスタッフによる医療公開講座の開催、病院広報誌の創刊なども行っています。

2024年1月4日には、公益財団法人 日本医療機能評価機構による、医療機能評価一般病院1 3rdG:Ver3.0の認定を受け、当院の理念である「一生涯のかかりつけ医たり得る質の高い医療の提供」を実現するため、継続的に病院の質の向上に努めています。看護部では「生命・人権・尊厳が守られることを判断および行動の基本として、温かな人間の配慮をもって対応する」を理念に掲げ、日々看護ケアを行っています。

【各部署の特性】

- 急性期一般病棟：下肢静脈瘤や外科手術を含めた周手術期管理、救急患者の受け入れ、人工呼吸器管理（急性期）
 - 障害者施設等一般病棟：重度の障害、神経難病、肢体不自由、血液透析、人工呼吸器管理（慢性期）
 - 地域包括ケア病棟：レスパイト、在宅復帰に向けたリハビリ、急性期治療後の各種疾患、退院支援
- 外 来：訪問看護、訪問診療、健診

看護師にはママさんナースも多く勤務しており、保育園を併設しており、育児と仕事の両立が安心して行えるようになっていきます。スタッフの年齢層も20～60代と幅広く、相談や協力をしながら業務を行っており、外来や特性の違う病棟があるため、様々な分野の経験をすることが出来る病院です。

医療法人社団翔嶺館 札幌優翔館病院
〒002-8042
北海道札幌市北区東茨戸2条2丁目8-25



廊下



待合ホール



ラウンジ



会 員 募 集

北海道看護協会札幌第4支部では、看護の質の向上をめざした活動や事業を行っています。また、看護職を取り巻く環境が大きく変化している今、多岐に渡る研修が準備されています。研修に参加して友達の輪を広げましょう。入会は、右記までご連絡ください。

連絡先 北海道看護協会総務課

電 話 011-863-6731

会 費 16,500円

募 集 中 の テ ー マ

表紙写真

季節の風景・看護の風景・ご自身の作品・ペット紹介など、なんでもOKです。

施設紹介・スタッフ紹介

自薦他薦かまいません（写真数枚、本文400字程度）

連絡先 札幌第4支部 広報委員会
心優会中江病院 小原 路子
Email: nakae-west4@shinyukai-r.or.jp

編集後記

はまなすがペーパーレス化され、約2年となりました。北海道看護協会のホームページから「支部」→「札幌第4支部」を見て頂くと、はまなずやお知らせを見ることが出来ます。また、QRコードも添付していますので、そちらからアクセスしていただけたらすぐ支部ページへ飛ぶようになっています。

次回ははまなずは2月を予定しています。引き続き、写真、施設紹介など募集していますので、ぜひご連絡いただけたらと思います。
(記：小原)



札幌第4支部会員数



第4支部HPはこちら

保健師：93名 看護師：4,564名
助産師：218名 准看護師：80名
2024年11月末会員数：4,955名
2024年度札幌第4支部目標会員数：5,090名